

千歳市教育委員会だより

からふる



令和4年8月 夏号
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

小中学校の修学旅行の実施風景

春から夏にかけて、多くの小中学校で修学旅行が行われましたので、その一部の様子をご紹介します。どの写真も子どもたちの笑顔が溢れ、みんなの笑い声が聞こえてくるようです(*^_^*)



みどり台小学校

初めての修学旅行となるみどり台小学校は、7月7日から8日にかけて、洞爺湖方面に行きました。ルスツの遊園地を満喫したあと、洞爺湖の火山科学館の見学や花火大会の鑑賞、さらには、翌日にラフティングを体験するなど、思い出に残る充実した2日間となりました！

東千歳中学校

東千歳中学校は、2・3年生合同で、5月10日から12日にかけて京都・大阪方面に行きました。

1日目は二条城・金閣寺・清水寺を見学し、2日目は京都市内の自主研修で歴史を勉強し、最終日は大阪のUSJでグループに分かれ、色々なアトラクションを満喫しました！最終日は雨天となりましたが、初日と2日目は天気が良く、とても有意義な3日間でした。



千歳市ホームページに「からふる」のバックナンバーを掲載しています。
URL：<https://www.city.chitose.lg.jp/>

千歳市 からふる

検索



千歳市の学校ICT環境について

急速に情報化が進む今日の社会においては、子どもたちの生活の中心となる学校でも、情報通信技術（ICT）を活用することがより一層求められています。

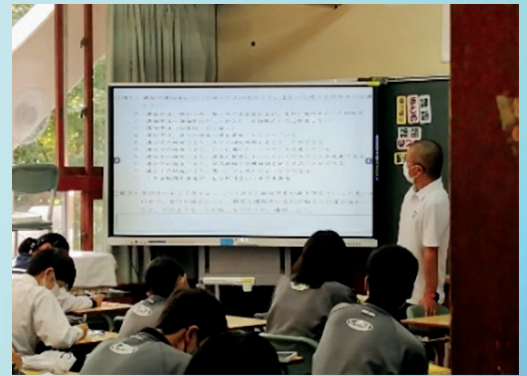
「ICT機器は文房具のように当たり前学習で利用するもの」という考えから、校内通信ネットワーク環境と1人1台のコンピュータの一体的な整備を行うGIGAスクール構想が令和元年度に文部科学省から打ち出されました。

千歳市では、令和2年度から令和4年度までの3年間で約8億5千万円の費用をかけ、全小中学校への校内通信ネットワーク環境（無線LAN環境）と学習者用コンピュータ8,128台を整備し、児童生徒1人1人が学習者用コンピュータを活用して学習することができる環境を整備しました。

すでに各小中学校では、これらの学校ICT環境を授業等で有効に活用しているほか、学習者用コンピュータの長期休業中の持ち帰りについてモデル校による実証実験を行い、その効果と課題について検証することとしています。

また、児童生徒の情報活用能力の育成や、効率的な学力の向上を図る環境を構築し、運用していくことが重要となることから、現在千歳市では、子どもたちがデジタル教材を活用していつでもどこでも学ぶことができるよう、ポータルサイト「まなびポケット」を導入しています。

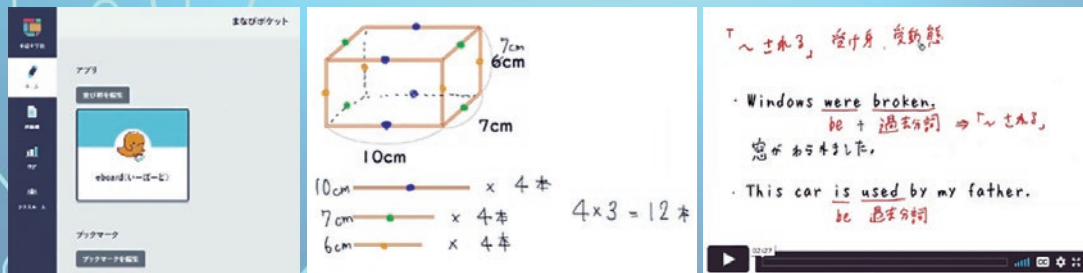
ICTは急速に進歩していく分野ですので、計画的に整備、運用、更新を行い、子どもたちの学習活動の、より一層の充実に努めていきます。



電子黒板を活用した授業の様子



学習者用コンピュータ活用の様子



「まなびポケット」に搭載されている学習用コンテンツ

《令和2年度～令和4年度 ICT環境整備内容》

- ・全児童生徒分の学習者用PC整備
- ・全小中学校への無線LAN環境の整備
- ・小中学校デジタル教科書の更新
- ・電子黒板の更新

セガサミーによるワークショップを実施しました

千歳市とセガサミーホールディングスは、今年度、包括連携協定を締結し、観光事業のほかセガサミーグループの特性を生かした地域活性化など、幅広い分野で千歳市との連携を進めています。

セガサミーカップゴルフトーナメントの開催にあたり、セガサミーが持つエンタテインメント事業やプログラミング教室などを通じて、市内の小中学校でワークショップが開催されました。



高台小学校でのぶよぶよプログラミング講座

勇舞中学校では、【SEGA SAMMY LUX】のメンバーによる「ダンスレッスン」が行われ、トッププロのパフォーマンスを体感するとともに、プロによる直接指導を受けながら、ダンスを楽しみました。



勇舞中学校でのダンスレッスン

また、高台小学校では、「ぶよぶよプログラミング講座」が実施され、各自がパソコンを操作し、プログラミングについて学びました。また、講座ではeスポーツプロ選手とゲーム対決を実施したほか、eスポーツプロ選手のお仕事に関する話を聞くなど、子どもたちにとって特別な時間となりました。

学校の特色ある取組を紹介します！

桜木小学校 ～地域と学校で花を育て、子どもを育てる(*´`*)～

桜木小学校の児童は、地域の方々に見守られ、育てられながら成長しています。6月10日（金）には、地域の「桜寿会」のみなさんとコスモスの種まきを行いました。当日の種まきには、地域の方々がたくさん参加してくださいました。作業の前に、コスモスという花がどんな特徴をもっているのか、手作りの解説ボードを作成して丁寧に説明していただいた後、一人ひとりの児童に寄り添い、種を落とす間隔や掛ける土の量を見ていただきながら、植えが行われました。感謝です。これから綺麗な花が咲くのが楽しみです。



作業の前に、コスモスという花がどんな特徴をもっているのか、手作りの解説ボードを作成して丁寧に説明していただいた後、一人ひとりの児童に寄り添い、種を落とす間隔や掛ける土の量を見ていただきながら、植えが行われました。感謝です。これから綺麗な花が咲くのが楽しみです。

向陽台小学校 ～目的に合わせてデジタルアナログ活用を～

向陽台小学校では、ICTを活用した授業づくりに興味関心を持つ教員が多いです。先日は、ICTサポーターを講師として、わかりやすい授業にするための効果的なタブレットの活用方法を研修しました。いつからかは定かではありませんが、家庭が学校に求める、指導してほしい内容の量が増えてきました。とてもとても、各校の教育課程になんか入りきれません。それを効率的に授業に落とせる方法が、ICTを活用した授業づくりです。GIGAスクール構想の原点です。しかし、直接顔を見て話し合う（アナログ）ことを、ないがしろにははいけません。デジタルかアナログかではなく、両方が大切なのです。目的に合わせてしなやかに使い分けられる力を備えていきたいものです。

本校の教職員は、このような考え方を頭の真ん中において授業作りをしています。



北斗中学校 ～ICT機器を活用した教育活動～

北斗中学校では、GIGAスクール構想によって整備された1人1台の端末（タブレット）等を活用した学習活動が進んでいます。昨年度は、コロナ禍の影響により学校閉鎖や学年閉鎖時に、オンライン授業のノウハウを習得することができました。現在でもコロナによる出席停止や学級閉鎖の際には、いつでもオンライン授業ができるようにしています。また、普通の授業でも、各教科でICT機器を活用した授業展開を行っています。授業以外では、朝学習の時間にタイピングソフトを使用して、キーボードの練習を行っています。各種集会の資料をタブレットの中に保存しておき、タブレットを操作しながら集会を行います。旅行的行事ではカメラ機能を活用して、まとめ学習をスムーズに行っています。

このように、ICT機器を活用しながら、学びの保障や学びの充実に取り組んでいます。



千歳市青少年非行・被害防止市民総ぐるみ運動・社会を明るくする運動

毎年7月、内閣府では「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、法務省では「社会を明るくする運動強調月間」、北海道では「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間」と定められ、全国・全道で様々な月間運動に取り組んでいます。

千歳市では、「千歳市青少年非行・被害防止市民総ぐるみ運動・社会を明るくする運動強調月間」として、7月2日に「開会セレモニー」と「市内9か所での街頭啓発」を行い、17日には「スカイ・ピア&YOSAKOI祭」でPRしたほか、月間を通じて市役所本庁舎において「啓発展示」を行いました。特に今年度は、最近急増する「インターネットの利用から子どもの犯罪や被害を防ぐための親子のルールづくり」などを呼びかけました。



さいきんのわだい

令和4年度家庭教育セミナーを開催します！

日時：令和4年10月7日（金）18時30分から20時
会場：北ガス文化ホール 2階中ホール
講師：タレント ルー大柴氏
対象：主に千歳市民または千歳市内に通勤・通学する方
受講料：無料 ※生後6か月以上託児受入（若干名）
受付開始：9月9日から（WEB、電話またはFAXで受付）
問合せ：教育委員会生涯学習課（0123-24-0848）

演題：「人生マウンテンありバレーあり
～1度きりの人生、ドリームを持って～」

独特の「ルー語」でお馴染み、ルー大柴氏の「人生山あり谷あり」の人生のお話。高校卒業後、海外への片道切符の放浪の旅や長い下積み生活と栄光と挫折、そして家族の支えを経て今、自身の成功と失敗経験を基に「夢」「目標」「家族」について、笑いあり、涙ありの講演会。



公立千歳科学技術大学学生ボランティア学習サポート事業について

千歳市では、長期休業中に学校が行う補充学習に公立千歳科学技術大学の学生ボランティアを派遣し、教員が作成した指導計画をふまえた児童生徒への指導の補助を行っています。

令和4年度は7月25日（月）～8月17日（水）までの期間で市内の小中学校7校で実施されました。補充学習に参加した児童生徒からは「お兄さん・お姉さんに勉強を教えてもらって楽しかった。」などの声が聞かれました。



令和4年度第1回総合教育会議を開催しました。

7月1日（金）に令和4年度第1回総合教育会議を開催しました。この会議は、市長と教育委員会がお互いに連携を取りながら教育行政を推進するために開催しており、今回は『千歳市教育施策の令和3年度実施状況と令和4年度の主な取組』及び『特別支援教育に関する取組の推進』を議題とし、教育委員会の各事業の取組状況等について共有しました。



わたしのおすすめ図書～学校司書さんに聞きました～

〈泉沢小学校 / 富丘中学校 学校司書 上戸はるかさんおすすめ〉
「もしものに備える！おうち備蓄と防災のアイデア帖」
島本美由紀 著 / パイ インターナショナル

地震、豪雨、台風など、自然災害が多い日本。日常生活に防災という視点を加えて、おうち備蓄を始めてみましょう。目安は人数分×7日分、水は一日一人3リットル、そして備えておきたい7つの食品を示し、レシピや使いきるコツを紹介。

何年も日持ちがする保存食。半年に一度は点検を！私は賞味期限が近づくと使い切るためキャンプや登山で簡単ごはんにアレンジ！

もしもの時や日常でも役立つ防災クッキングとアイデアが紹介されています。



〈北陽小学校 / 勇舞中学校 学校司書 工藤知美さんおすすめ〉
「永遠に語り継ぎたい 3.11の素敵な話」
やまだひさし 著 / ぱる出版

これは東日本大震災の話です。本当の混乱は災害の後に起こります。買い占めによって物がなくなったり、知りたいことが知れずにパニックになったり、これに政治が関わったり…。そんな中、自分たちが今できることをしよう、とたくさんの方が立ち上がりました。地震大国日本ではいつどこで起きてもおかしくはありません。それに、今なら戦争という災害も。悲惨な物語ではなく、この本にはたくさんの希望があります。今誰かのために、いつか誰かのために、そう思えるような励まされる本です。読みやすいので是非手に取って下さい。



千歳中学校 ～私たちの単P活動～

本校のPTA活動は、コロナ禍で研修活動や教育活動がままならない中、子どもたちの自律とキャリア教育を支援するため次のような取組を行っています。①Myゴール手帳の作成 ②Myゴールサポート講座 ③広報誌の発行。Myゴール手帳とは、生徒の日常を記録化することで先を見通した生活ができることを目的として作成しています。テスト計画を記入する欄やクロムブックの使用上の注意点など多くの情報を掲載しています。Myゴールサポート講座では、保護者の方々が職業について紹介する内容とし、将来の職業選択につながることを目的としています。広報誌は、本校の学校行事の写真を中心に作成しており、年々写真の枚数が増え、生徒たちが行事に対して真剣に取り組む姿を掲載しています。



編集・発行 千歳市教育委員会（千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話：0123-24-0819（直通）

■FAX：0123-27-3743

■E-mail：kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL：https://www.city.chitose.lg.jp/